

Press Release

株式会社 潤工社
2025年11月10日

「MWE 2025」に出展

6G時代を見据えた潤工社の高周波帯活用製品を展示

株式会社潤工社（本社：茨城県笠間市 代表：^{そごう まもる}十河 衛）は、2025年11月26日（水）から11月28日（金）まで、パシフィコ横浜で開催される「MWE 2025（マイクロウェーブ展 2025）」に出展します。

業界初*の250 GHz対応0.5 mmコネクタ同軸ケーブルアセンブリをはじめとする、開発や計測・評価用の各種同軸ケーブルアセンブリ、低誘電フッ素フィルムを用いた銅張積層板（CCL）など、6G時代を見据えた先進的ソリューションを提供する各種製品を展示します。

課題をお持ちのご担当者様は、ぜひご来場ください。ブースNo. E-04でお待ちしております。



潤工社ブース No. E-04（写真は昨年ブース）

■出展製品

①開発および計測・評価用 「Junkosha® マイクロ波・ミリ波同軸ケーブルアセンブリ」

業界初*の250 GHz対応0.5 mmコネクタ同軸ケーブルアセンブリ「MWX0A5」と、世界最高水準の位相安定性を実現したテストケーブルアセンブリ「MWX851」を中心に展示いたします。

ワイヤ・ケーブル&アセンブリ製品ページ：<https://www.junkosha.com/jp/products/cable>

潤工社は、EPTFE誘電体の製造をはじめ同軸ケーブル製造、アセンブリ加工まで一貫して自社で行っており、世界最高水準の位相安定性や耐久性にて高い信頼を得ています。

展示ブースでは、VNAテストアセンブリ「MWX851」を実際に曲げ、位相安定性を体感していただけるデモンストレーションをご用意しています。

*IEEE（アイ・トリプル・イー：電気・電子・通信・情報分野における世界最大の技術者組織であり、国際的な標準化機構）によるマイクロ波・ミリ波同軸コネクタの標準規格「IEEE 287.1-2021」では、0.8 mmコネクタ径・145 GHzが最高水準とされています。また、市販されている同軸ケーブルアセンブリにおいて、0.5 mmコネクタ径で250 GHzに対応する製品は確認されていません（当社調べ：2025年10月時点）。

②「Junkosha® マイクロ波・ミリ波ラミネート」

従来のフッ素基板を上回る誘電特性を持つ、低誘電フッ素フィルムを用いた銅張積層板（CCL）をご紹介します。

■MWE 2025 概要

マイクロ波技術関連の学術、産業、教育に関する国内最大級のイベント

会期：11月26日（水）～11月28日（金）

時間：10：00～17：00

会場：パシフィコ横浜 展示ホールD 潤工社ブース No. E-04

※ご来場には「事前参加登録」が必要です。詳細は「MWE 2025」のホームページをご覧ください。

<https://apmc-mwe.org/mwe2025/outline.html>



Junkosha® マイクロ波・ミリ波同軸ケーブルアセンブリ
0シリーズ 精密計測用位相安定タイプ「MWX0A5」



Junkosha® マイクロ波・ミリ波同軸ケーブルアセンブリ
8シリーズ VNAテストアセンブリ「MWX851」



Junkosha® マイクロ波・ミリ波ラミネート

株式会社潤工社について (<https://www.junkosha.com>)

1954年4月創業。「比類ない価値を創造し、社会を豊かに潤す」理念のもと、フッ素ポリマーをはじめハイパフォーマンスポリマーの成形加工で、ワイヤ・ケーブル、チューブ・継手、フィルム、射出成形品、それらを複合化させた高機能コンポーネント製品を提供しています。その技術は、「医療」「半導体・精密機械」「情報通信」「環境・エネルギー」「航空・宇宙」などに応用され、各分野の課題にソリューション提供しています。日本、欧米、中国の9拠点で718人のアソシエイトが47の国と地域で事業を展開、150超の特許を保有しています。

報道お問い合わせ先：株式会社潤工社 広報（那須・長井）

携帯：080-9708-2389 E-Mail：PR@junkosha.com